

下関市入札監視委員会（第8回）審議概要

開催日時	平成18年11月21日 14:30		
場所	下関市勤労福祉会館 第4会議室		
委員	太田周二郎（大学教授） 岡孝（高等学校教諭） 中谷正行（弁護士） 山元太志（公認会計士）		
審議対象期間	平成18年7月1日 ~ 平成18年9月30日		
審議対象総件数	235件	（抽出工事名称）	
抽出 案件	条件付一般競争 入札	164件	長府浄水場特別高圧受変電設備更新工事（第1期）
	指名競争入札	49件	筋ヶ浜終末処理場場内整備工事
	随意契約	22件	平成18年度捕鯨船船体整備等工事
指名停止等の運用状況	5件9社		
低入札価格調査制度 対象工事の発生状況	5件		
議事概要及び委員からの意見・質問、それに対する回答等	議事項目、意見等	別紙のとおり	
	議事結果、回答	別紙のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	特になし		

別紙

議事項目、意見・質問	議事結果、回答
「入札方式別発注工事総括表及び一覧表（報告）」	
<ul style="list-style-type: none"> 発注動向と景気動向とは関係があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 特に分析はしていない。発注件数はここ数年減少傾向が続いている。合併に伴う増加分もある。
「長府浄水場特別高圧受変電設備更新工事（第1期）」	
<ul style="list-style-type: none"> 入札条件にあるGIS自社製作できる業者は何社あるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 9社が製作可能である。本件の入札条件では8社が入札に参加することが可能であった。
<ul style="list-style-type: none"> 8社が入札に参加できたのに1社しか参加しなかったことはどう考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の設備を施工したのは、当該入札参加業者であるが、本工事は浄水しながらの工事となるため他の業者では困難と判断し参加しなかったのではないかと。
<ul style="list-style-type: none"> 第2期工事は随意契約となる可能性が高ということか。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本は（条件付）一般競争入札である。できるだけ（条件付）一般競争入札で行いたい。
<ul style="list-style-type: none"> 設計図書を購入した業者は分かるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を持ち合わせていないが、当該入札参加業者だけだったと思われる。
「筋ヶ浜終末処理場場内整備工事」	

<ul style="list-style-type: none"> 指名業者は事前に分かるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 指名業者名を事前公表している。10月16日から開札後公表とした。そのため指名競争入札ではあるが一般競争入札と同じような状況になる。
<ul style="list-style-type: none"> 本工事で採用した工法のほかにも工法はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ある。腐食性ガスの濃度によりランク分けされる。本工事に一番適した工法であると判断した。
<ul style="list-style-type: none"> 次に予定される工事は随意契約とするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の2社でも施工可能であり、随意契約は考えていない。
<p>「平成18年度捕鯨船船体整備等工事」</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 設計額はどのように積算したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 見積をとった後単価を見直して積算した。
<ul style="list-style-type: none"> 維持費の見込み額はいくらか。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査費用も必要であるが、管理費用として具体的にはまだ分からない。